

国内向け不動産担保融資を強化

アイビネット O H G の不動産金融の中核担当

特別企画

オープンハウスグループ(以下O H G)において、不動産金融部門を担うアイビネット(以下I B N、大阪市淀川区、高舛啓次社長)。O H Gは19年9月期の売上高で5000億円台到達を見込んでおり、金融部門の強化が加速化している。I B Nは本拠を構える大阪に加え、複合商業施設「GINZA SIX」や、渋谷駅前の一等地にも2か所オフィスを構え、急速に事業を拡大している。

I B Nは主力事業である海外不動産融資やO H Gでの住宅購入を円滑化するためのつなぎ融資に加え、住宅ローンの取り次ぎサポートサービスと、国内向け不動産担保ローン事業を首都圏において矢張り早に立ち上げた。

国内向け不動産担保ローン事業は資金調達を必要とする法人・個人事業主等が主な対象。不動産を担保に融資金額は3000万〜5億円。融資期間は原則2年以内。金利は年

「お客様第一」徹底

通常、不動産事業者は不動産を購入し、転売あるいは開発して事業を行うもの。そのため、不動産を購入するため

OPEN HOUSE GROUP
FREE 0120-550-260
株式会社 アイビネット
 [渋谷] 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4
 渋谷百瀬ビル2階 TEL.03-5774-4121
 [登録番号] 近畿財務局長(4)第00811号
 [加入団体] 日本貸金業協会会員 第003115号

小・不整形地に関しての評価も積極的に対応できるノウハウやリソースを持つ。スピード、ノウハウ、リソースを駆使して、I B Nは業歴が短く銀行からの融資が受けられない業者、事業拡大のための運転資金が不足している個人事業主や、資産管理会社で不動産投資・購入を図る個人といった幅広い融資ニーズに対応する方針だ。

新事業は4月からの準備期間を経て、6月に渋谷の明治通り沿いのオフィスを開設。7月からは同社ウェブサイト内にサービス紹介のページ(<https://ibnet.openhouse-group.com/loan/>)も新設した。

8月には新事業開始のあいさつ状や開設キャンペーン実施のチラシを配布。「オープンハウスのグループ会社」というプラスの印象もあって、想定以上の数の問い合わせがあり、融資件数・額は順調に伸びてきている。不動産に関して銀行融資が通りづらくなる中で、不動産の価値を見極めてスピード融資のできるノンバンクに目が向けられている状況だ。

業容拡大をバランスよく

I B Nの現在の主力事業は米国不動産の購入資金の融資だ。商品は資産形成を目的とした国内富裕層向けとなる。不動産を活用した資金需要の高まりを受け、国内不動産融資を早期に海外不動産融資と同規模の事業に育てていく方針。

I B NはO H Gの不動産金融の中核を担い、グループの強みを生かすことで、O H Gの住宅購入者や個人の富裕層にとどまらず、事業拡大を目指す法人など新たな顧客層を開拓し、バランスよく業容拡大を進めていく構えだ。

融資に求められるのは迅速な対応と親身な資金提案になる。

I B Nの不動産担保ローンの1番の特徴はスピード対応。顧客が収益機会を逃さないように「事前相談は最短期日回答、融資は最短3日」を信条とする。

更に、不動産の目利き力も強みだ。O H Gが有する不動産関係の知見をベースに、あらゆる角度から不動産を査定・評価できる。例えば、O H Gが強みとする都心部の狭